

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月25日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3650180320
法人名	医療法人 若草会
事業所名	グループホームわかくさ
所在地	徳島県徳島市川内町小松西93番地 (電話)088-665-8604
評価機関名	社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
所在地	徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地
訪問調査日	平成19年 9月 11日

## 【情報提供票より】平成19年8月1日事業所記入)

### (1)組織概要

開設年月日	平成17年 1月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	21 人 常勤20人, 非常勤1人, 常勤換算 南6.6人, 東7.1人

### (2)建物概要

建物構造	木造平屋建て造り 1階建ての 1階部分
------	------------------------

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	48,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費300円・その他実費
敷金	有( ) 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

### (4)利用者の概要(8月1日 現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	5名	要介護2	6名		
要介護3	7名	要介護4	0名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 87歳	最低	80歳	最高	94歳

### (5)協力医療機関

協力医療機関名	・松村病院 ・坂本歯科医院
---------	---------------

徳島県 グループホームわかくさ 1

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、木造平屋建てで、周りは畑に囲まれた環境である。「東」と「南」の2つのユニットがあり、利用者は近隣の人が多く、地域との連携も折に触れ行われている。ホームでは、「一人ひとりの生活を大切に」という理念のもと、日常の生活の種々の場面で介助や支援に理念が活かされている。また、利用者一人ひとりの心身の状態を知ること努め、認知症改善や身体の疾患の予防に繋がっている。東ユニットでは利用者の自治会を作り、お風呂の順番など共同生活で出てくる色々な問題や要望を話し合い、解決を図っている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価で重要事項説明書、契約書に権利・義務の明確な記載がなかったが、改善するまでには至っていない。また、警察署・消防署との連携では、消防署には立ち入り検査時に防災訓練の指導を受け、年4回の防災訓練を実施するなど防災体制を整え改善されている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	「一人ひとりの生活を大切に」という理念のもと、自己評価にこめられたそれぞれのサービスの意義を運営者、管理者、職員がよく理解され取り組まれている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議ではグループホームが取り組んでいる「自治会」の活動内容の報告や年間の活動や月々の活動が定期刊行物(年2回と毎月発行の2つがある)によって写真入りで報告されている。ここで出された意見をホームの取り組みに取り入れ、サービスの質の向上に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の訪問時に意見を聞き、話し合い、意見箱を設置して苦情や意見を拾うようにしている。また、毎月、2~3家族ごとに個々の面談日を設け、特別に苦情や意見を聞くようにしている。毎月の「ホーム便り」で、その月ほどの家族の面談があるか明示されている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域との関係は、日常の散歩時に農作業をする方々と挨拶を交わしたり、地域の「運動会」や「祭り」への参加、夏休みには地域の子どものラジオ体操にホームの広場を提供し、利用者の方々も一緒に参加したりしている。また、年末には「もちつき大会」を行い地域住民も参加するなど広がりを見せている。

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「一人ひとりの生活を大切に」という理念は、入浴や排泄などの介助から、趣味やレクリエーション活動の支援、地域住民との触れあいに至るまで、種々の生活の場面でその人らしく暮らし続けることを支援する指針となっている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用時には理念を伝え、毎日のミーティングでも必ず理念に触れ、「介護の心得」とともに確認し合い、ケアの実践に取り組まれている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の運動会やお祭りなどには、利用者、職員ともに参加している。夏休みには、地域の子どもたちのラジオ体操にホームの広場を提供し利用者も一緒に行っている。また、年末には地域の方々も参加して「もちつき大会」を行うなど触れあいを積極的に進められている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価で改善項目となっていた警察署・消防署との連携については、消防署の指導を受けて防災訓練の実施、防災体制を整え改善されている。重要事項説明書・契約書への権利・義務の明確な記載については改善するまでには至っていない。	○	重要事項説明書・契約書に利用者の権利・義務を明確に記載されたい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームでの現在の取り組みについて報告し、また、自己評価、外部評価の結果についても報告され、そこで出た意見を取り組みに活かされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市との連携については、現在特に行われていない。ホームとしては、毎月の活動報告・行事予定を掲載したミニ広報(ホーム便り)を毎月市に届けられている。	○	毎月の報告以外に、いつでも相談できる関係作りに取り組んでいかれたい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月ミニ広報(ホーム便り)を発刊し利用者のホームでの様子を伝えるとともに、金銭出納の報告もされている。また、介護計画の見直しに伴って、家族を含めたカンファレンスを行い、その際、利用者のホームでの様子をスライドや写真を見ながら伝えられている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見等の聞き取りは、苦情箱、家族の来訪時での話し合い、家族会での家族同士の話し合いで出た意見を運営に反映させている。なお、それだけでなく特に家族面談日を設け意見を聞く機会を設けている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員と利用者のなじみの関係を大切にすることということをモットーにして、異動は最小限に留めるように努力されている。新入職員は利用者にもスムーズに受け入れてもらえるよう配慮が行われている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は外部研修に交代で参加しており、また、母体の老人保健施設が講師を招いて行う研修にも参加している。ホーム内で毎月1回の緊急時対応、衛生管理、介護技術等の勉強会・グループ研究も行っている。また、職員に自己研修や外部研修へ積極的に参加するよう促し、それぞれの段階に応じた資格の取得を支援されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者とは連絡を取り合い、ホーム内見学・実習を行い、意見交換を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用希望者や家族に見学に来てもらったり、職員が利用者の家を訪問するなどしている。日中のみ生活して環境に馴染んでもらっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	「介護する人、される人の関係ではなく、ひとりの人として関わる」という基本的な態度をもって家族として、また、人生の先輩に対する気持ちで接している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	介護計画作成時に利用者も参加し、できる限り希望される生活を把握することに努めている。東ユニットの自治会では、そこで出される要望などで、個々の利用者の思いや意向をくみ取っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の要望を聞き、その他医師などの意見を含めて、課題となることをスタッフ全員で話し合い、本人の希望する生活ができる介護計画の作成に努めている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3ヶ月ごとに評価し、見直しをすると共に、状態が変化した際や、本人・家族の要望に応じて随時修正を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の希望や事情に応じて、受診やリハビリなどの通院や利用者の個別の外出など、個々の利用者の要望に応じる取り組みをされている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医には入居後も定期的を受診され、また、状態に応じて随時診察を受けられている。体調変化がある時は、家族にも同行してもらい診察結果を聞いてもらっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に対する対応方針、看取り介護については、家族に十分説明され、同意を得られている。希望される方には入院後も急性期が過ぎればホームに戻り療養することが可能である。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日常の利用者との触れあいは、人生の大先輩として尊敬の念をこめて、丁寧な言葉かけを心がけている。また、「マナー教室」やその他の「勉強会」が開かれ、利用者の誇りやプライバシーを損なわない対応ができています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせて、入浴や食事の時間には幅を設け対応されている。また、突然の買い物や外出の希望にも可能な限り対応されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と相談してメニューを決め、また調理・盛り付け・片付けも利用者とともにを行い、職員も一緒に食事をされている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間は、昼食後から夜8時までとなっているが、利用者の希望時に入れるようになっている。東ユニットでは、自治会で入浴の順番を決めている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の利用者の能力に応じて、買い物・調理・野菜きり・漬物づくり・菜園・芝生の水やり・手すり拭き・カレンダーめぐりなどが行われている。また、楽しみごとでは、手芸・書道・俳句・カラオケ・詩吟など趣味のクラブ活動の支援をされている。遠出の外出や外食も利用者の希望を聞きながら行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買い物、お墓参りなどの日常の外出については、その日の希望に応じて個別または少人数での支援をされている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や日中玄関に鍵を掛けることの弊害を十分に理解されており、自由に入出りできる環境作りを工夫されている。また、ホームの外に利用者が一人で出そうになったときは、見守りながら同行し、さりげなく声掛けして納得の上ホームに帰るなどを基本的なケアの方法とされている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	種々の防災のマニュアルを作り、火災・地震・台風に備えている。避難訓練や消火器の使い方、ビデオの確認など、利用者も一緒に年4回の訓練に参加している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取量は、毎日チェック表に記録し、個々の利用者の状態を把握されている。糖尿病・貧血・高血圧の利用者については医師の指示を受けて母体施設の栄養士と相談して適切な対応に努められている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間兼食堂のあるホールは明るく、落ち着いた感じである。季節にあった飾りつけ、自分たち手作りの花などを置き、過しやすい工夫をされている。食事の時間が近くなるとご飯の炊ける匂いやおかずの匂いがして、家庭的な雰囲気をかもしだしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々の利用者の居室には、好みの置時計や飾り付けの小物などが置かれ、また、鏡台を置いておしゃれをする人など本人が居心地よく過ごせる工夫をされている。		